

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

化学物質名	5- <i>O</i> -Feruloylquinic acid
製品コード	NS430602

会社情報

会社名	長良サイエンス株式会社
住所	岐阜県岐阜市古市場840
電話番号	058-234-4257
FAX番号	058-234-4724
メールアドレス	nagara@nsgifu.jp

推奨用途及び使用上の制限	試験研究用
--------------	-------

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない

GHSラベル要素

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
注意書き	なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
-------------	------

組成及び成分情報

化学名又は一般名	5- <i>O</i> -Feruloylquinic acid
化学式	C ₁₇ H ₂₀ O ₉
分子量	368.34
CAS番号	53905-80-9, 62929-69-5
含有率	≥98% (HPLC)
化審法官報公示整理番号	—
安衛法官報公示整理番号	—

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移す。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に付着した場合

水と石鹼で洗う。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受ける。

目に入った場合	水で洗う。 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水で口をすすぐ。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	必要に応じて適切な目、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災等の場合は、毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。
特有の消火方法	火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。 消火作業は風上から行なう。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必要に応じて適切な自給式の呼吸器用保護具、目や皮膚を保護する防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、目、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	製品の環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	掃き集め、容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の措置を行ない、必要に応じて保護具を着用する。
保管	安全取扱注意事項 適切な保管条件 避けるべき保管条件 容器包装材料	容器に衝撃を与える等の粗暴な扱いをしない。 冷凍庫に保管する。 直射日光や高温下での保管を避ける。 ガラス等。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的指標)	未設定。	
設備対策	取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。	
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	必要に応じて呼吸用保護具を着用する。 手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。 目に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。 必要に応じて保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状态、形状、色等)	白色、不定形固体
臭い	情報なし
pH	情報なし
融点・凝固点	情報なし

沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
比重(相対密度)	情報なし
溶解度	メタノール:可溶
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
分解温度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の手扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	直射日光を避け冷凍庫で保管する。
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

14. 輸送上の注意

ADR/RID (陸上)	規制されていない。
IMDG (海上)	規制されていない。
IATA (航空)	規制されていない。
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

化審法	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当

- * 記載のデータや危険、有害性の評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。
- * 記載内容は通常の取り扱いを対象としたものですので、特殊な取り扱いについてはその状況に適した安全対策を実施してください。
- * 現在での弊社が知り得た情報を記載しておりますが、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取り扱いには十分ご注意ください。また、新たな情報を入手した場合には追加又は修正されることがあります。